

開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

皆様方におかれましては、大変お忙しい中、第71回全国植樹祭島根県実行委員会の設立総会にご出席をいただきまして、心より感謝申し上げる次第でございます。

全国植樹祭は、森林と緑に対する国民的理解を深めるため、天皇皇后両陛下のご臨席のもとに行われます国土緑化運動の中心的な行事でございます。

昭和25年から全国各地で開催されておるわけですが、島根では、平成32年の開催が内定をしておるのであります。8月9日に国土緑化機構の理事会が開催されまして、そこで決定しますと、昭和46年の第22回全国植樹祭が開催されて以来、49年ぶり、2回目の開催となります。

ご承知のように島根県は、県土の約8割を森林が占める森林県でございます。大変豊かな森林資源を活かして、木を「伐って・使って・植えて・育てる」の循環型林業の推進に取り組んでおります。

また、平成17年度から緑豊かな森を次世代に引き継ぐため、「島根県水と緑の森づくり税」を導入し、県民の皆様と共に、森づくりを進めてきておるところでございます。

こうした中で、平成32年に全国植樹祭を島根で開催することは、循環型林業の実現に向けた取組みや、森林とともに育ててきた島根の文化・歴史などを、全国に発信する良い機会となるものでございます。

この実行委員会におきまして、各界の皆様方のご意見を頂きながら全国植樹祭の基本計画を策定し、万全の準備を進めていきたいと考えております。委員の皆様と、関係機関の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げまして、開会にあたりましてのご挨拶と致します。

どうも、ありがとうございます。